

# 第28回 青梅市公共交通協議会

## 基本計画推進状況について

- 1 報告事項
  - (1) 市広報紙による公共交通の利用促進について
  - (2) 観光におけるMMIについて
- 2 協議事項
  - (1) 学校教育におけるMMIについて
  - (2) 事業所におけるMMIについて
  - (3) 公共交通ガイドの変更について

平成30年12月28日



# 1 報告事項

## (1) 市広報紙による公共交通の利用促進について

広報おうめに、公共交通に関する以下の啓発記事を掲載した。

### 現状はピンチ

現在、市内では鉄道やバスが運行されており、公共交通に恵まれた地域であると言えます。

しかしながら近年、公共交通の利用者数は減少を続け、交通事業者の努力や行政の補助金だけでは路線の維持が難しくなっています。

### 減少の悪循環

利用者が減ると、交通事業者の運賃収入が減少し、運行経費を賄うことができなくなり、ますます、運行経費を抑えるため、便数や路線数を縮小せざるを得なくなります。

その結果、利便性が低下して、さらに利用者が減少する悪循環になります。

### 乗って守ろう！使って育てよう！公共交通

今後は車を利用していても、5年後、10年後の近い将来、車以外の移動手段が必要となった時、困るかもしれません。

する悪循環になります。今後は車を利用していても、5年後、10年後の近い将来、車以外の移動手段が必要となった時、困るかもしれません。

利用者減少による悪循環

### 利用して健康に

例えば、買物へ行くのに1時間移動するのと、車で行けば家から店までほとんど座ったまま移動することになります。

一方、鉄道・バスを使えば駅やバス停まで歩いたり、鉄道・バスの中で立つ

### 使うほどエコ

鉄道やバスは車に比べて二酸化炭素排出量が半分以下となり、地球環境にとて

### 未来につなげる

いつもの生活に鉄道やバスの利用を取り入れてみる。ことが公共交通を未来につなげる第一歩になります。

市内の公共交通の情報は市のホームページに掲載しています。

#### 通勤手段と肥満の人の割合

通勤手段	割合
鉄道やバスで通勤する方	19%
車で通勤する方	28%

(出典 モビリティ・マネジメント教育のすすめ)

#### 移動手段と消費カロリー

移動手段	消費カロリー
公共交通	220kcal
車	102kcal

(出典 第6次改定日本人の栄養所要量)

### 未来につなげる

いつもの生活に鉄道やバスの利用を取り入れてみる。ことが公共交通を未来につなげる第一歩になります。

市内の公共交通の情報は市のホームページに掲載しています。

### もやさしい交通手段です。

#### 輸送量当たりの二酸化炭素の排出量

交通手段	排出量
鉄道	20
バス	67
車	141

(出典 国土交通省〈2016年度〉)

問い合わせ まちづくり政策課交通担当

**青梅市**  
公共交通  
で検索

問い合わせ まちづくり政策課交通担当

「広報おうめ」平成30年9月15日号(42,400部印刷発行)

配布方法:新聞折込 31,800部、個別配達 5,100部、残部は公共施設、駅やスーパー等で配布

また同広報内容を、より詳しく掲載した専用ページを市のウェブサイト開設した。

(<http://www.city.ome.tokyo.jp/machizukuri/mm-publictransport-user.html>)

Header of the City of Ome website. It includes the city logo, navigation tabs for Home, Life, Business, and City, and search options. The current page is 'Life'.

更新日：2018年9月14日

## 一人ひとりが考えよう～公共交通の持続に向けて～

### お知らせ

- 広報おうめ平成30年9月15日号に「乗って守ろう！使って育てよう！公共交通」が掲載されました。

### 公共交通のいま

#### 現状はピンチ

現在、市内では鉄道やバスが運行されており、公共交通に恵まれた地域であると言えます。

しかしながら近年、公共交通の利用者数は減少を続け交通事業者の努力や行政の補助金だけでは路線の維持が難しくなっています。



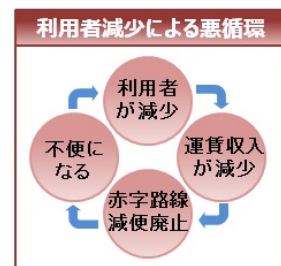
#### 減少の悪循環

利用者が減ると、交通事業者の運賃収入が減少し、運行経費を賄うことができなくなります。そうすると、運行経費を抑えるため、便数や路線数を縮小せざるを得なくなります。

その結果、利便性が低下して、さらに利用者が減少する悪循環になります。

公共交通に関するアンケートでは、「将来車を運転できなくなった時に必要」、「車を運転できない人のために必要」といった声が多く聞かれます。

今は車を利用していても、5年後、10年後の近い将来、車以外の移動手段が必要となった時、困るかもしれません。



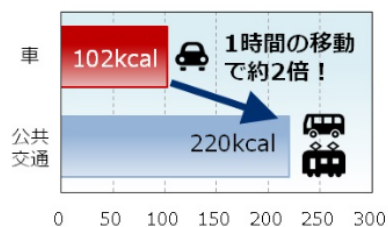
### 公共交通はいいところがたくさん

#### 利用して健康に

例えば、買い物へ行くのに1時間移動するとします。

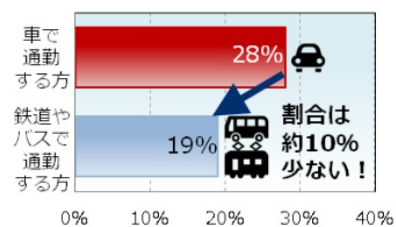
車で行けば家から店までほとんど座ったまま移動することになります。

一方、鉄道・バスを使えば駅やバス停まで歩いたり、鉄道・バスの中で立ったりして運動不足の解消や健康増進に役立つので、健康によい移動手段といえます。



移動手段と消費カロリー

出典：第6次改定日本人の栄養所要量



通勤手段と肥満の人の割合

出典：モビリティ・マネジメント教育のすすめ

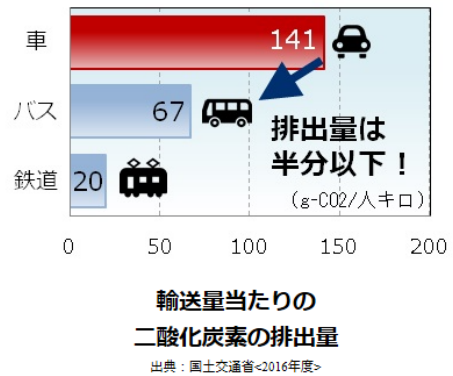
## 使うほどエコ

車は便利な乗り物ですが、その分、環境への負荷も大きいです。

地球温暖化の原因となる二酸化炭素排出量（1人を1km運ぶ際の排出量）を見ると、鉄道やバスは車に比べて半分以下です。

公共交通は多くの人を一度に運べるため、地球環境にとってもやさしい移動手段です。また、渋滞を減らすことにもつながります。

鉄道やバスといった公共交通を利用することで二酸化炭素排出量をしっかりと減らすことができますので、省エネルギーや環境保全のために通勤や通学、休日のおでかけなどに公共交通を利用してみませんか。

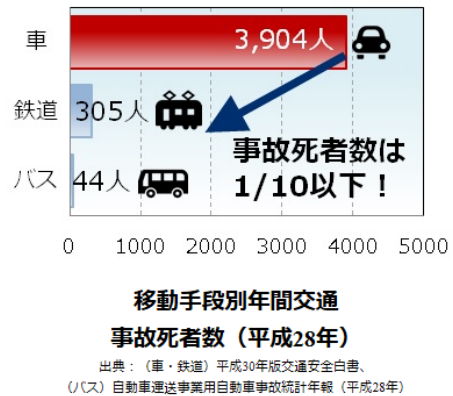


## 安全性が高い

交通事故死者数を移動手段別に見ると、鉄道やバスの事故による死者数は車に比べて十分の一以下となっていることから、公共交通の安全性の高さは非常に際立っています。

車の代わりに公共交通を利用する人が増えればそれだけ、自分が事故を起こす、または、自分が事故に巻き込まれる確率を減らすことにつながります。

公共交通を利用した通勤・通学・おでかけなら、より安全に移動できます。



## 誰でも利用できる便利さ

車の運転には運転免許証が必要ですが、公共交通なら幅広い世代が利用することができます。

東京都の支援のもと一般社団法人東京バス協会では、都内に住んでいる70歳以上の希望者の方に都電・都バス・都営地下鉄および民営バスが利用できる「東京都シルバーバス」を発行しています。

詳しくは高齢者支援「[東京都シルバーバス \(70歳以上の方\)](#)」をご確認ください。

### 未来につなげる

いつもの生活に鉄道やバスの利用を取り入れる自発的な行動が、公共交通を未来につなげる第一歩になります。例えば、月に一回、通勤や買物に公共交通を利用してみるなど。

一人ひとりのちょっとした意識の転換が、公共交通の未来につながるのです。

### 関連リンク

- [バスに乗って青梅登山に入門！高水山ハイキングコース案内マップ](#)

### お問い合わせ

部署名：経済スポーツ部まちづくり政策課

[ページの先頭へ戻る](#)

[サイトポリシー](#) | [プライバシーポリシー](#) | [著作権・リンク等について](#)

青梅市役所 〒198-8701 東京都青梅市東青梅1丁目11番地の1 [アクセスマップ](#)  
電話番号 0428-22-1111 (代表) FAX 0428-22-3508 (代表) 法人番号：8000020132055  
開庁時間：土日祝・年末年始を除く午前8時30分～午後5時

Copyright

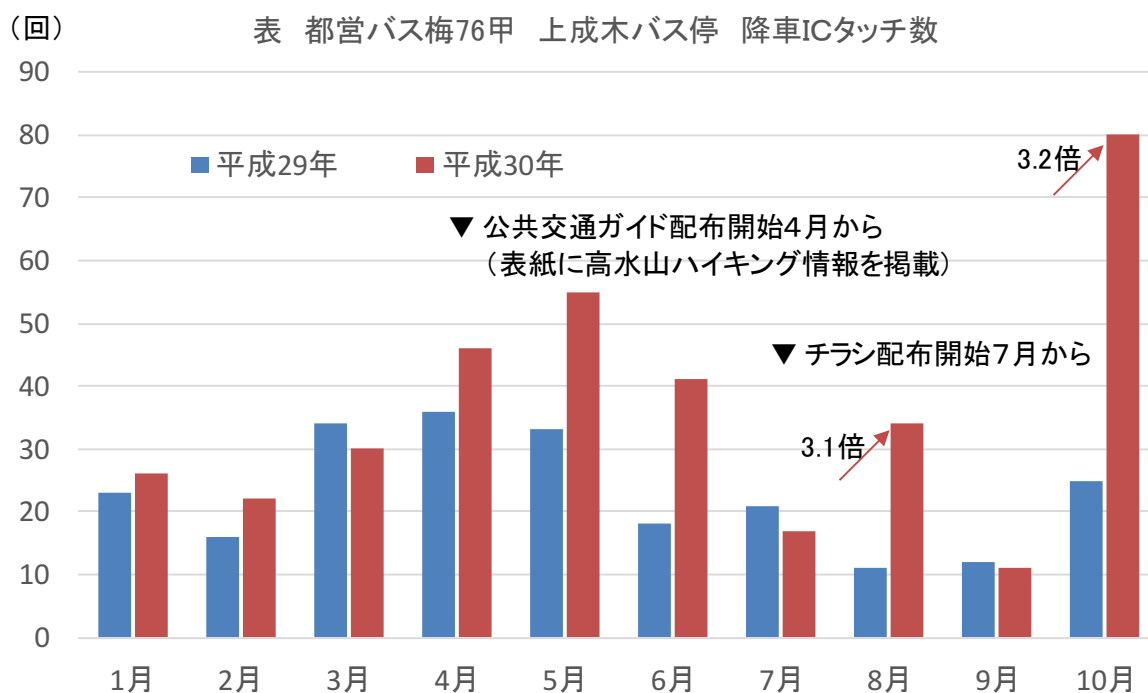
## (2) 観光におけるMMについて

公共交通を利用して高水山へ行くための情報提供チラシを作製、配布した。

7月から配布を行っているが、8月・10月には、上成木バス停の降車 IC タッチ数が、前年同月比で3倍以上の伸びとなっており、公共交通の情報提供チラシについては、一定の利用促進効果がうかがわれる。(9月は雨天が多く、ハイキングには適さなかったものと考えられる)

表 高水山のチラシ配布場所

配布場所	配布部数 (配架部数)	実施状況
青梅市物産展(杉並区/青梅市交流自治体)	300部	配布済
東京観光情報センター(東京都庁1階)	100部	配布済
東京観光情報センター多摩(立川駅エキュート3階)	100部	配布済
青梅駅前観光案内所	100部	配布済
JR 青梅線(青梅駅)	200部	配布済
青梅市ウェブサイト	電子媒体	掲載済
合 計	800部	





# 高水山ハイキングコース案内マップ

バスにのって青梅登山に入門!

高水山ハイキングコース案内マップ

青 Ome Blue

**常福院**  
高水山の山頂にある寺院です。不動堂に唐造切白木動尊が祀られています。山門は緋の木が茂り、紅葉シーズンはおすすませです。



常福院 表参道から登るコース  
上成木バス停から登山スタート!  
青梅梅駅北口からバス約40分

## 高水山への交通のご案内

### 行きの交通

JR東青梅駅から徒歩3分、東青梅駅北口バス停より都バス 梅76甲 上成木 行をご利用ください。

東青梅駅北口バス停の時刻表

平日	土曜	休日
07:40	07:49	07:26
10:53	10:39	10:30
17:49	17:59	17:44
19:49	19:44	19:44

上成木バス停から山道へ

### 帰りの交通

お帰りはJR軍畑駅から鉄道をご利用ください。

軍畑駅 時刻表 (10~18時まで掲載)

(平日)

時	奥多摩行き (下り)	時	青梅行き (上り)
10:26	10:39	10:26	10:54
11:11	11:24	11:29	11:54
12:40	12:09	12:31	12:54
13:25	13:39	13:01	13:56
14:11	14:24	14:02	14:57
15:40	15:07	15:02	15:29
16:19	16:32	16:00	16:57
17:22	17:48	17:02	17:42

(土曜・休日)

時	奥多摩行き (下り)	時	青梅行き (上り)
10:26	10:59	10:26	10:54
11:29	11:59	11:29	12:54
12:31	13:01	12:31	13:56
13:01	13:32	13:01	14:57
14:02	14:37	14:02	15:29
15:02	15:34	15:02	16:57
16:00	16:45	16:00	17:42
17:02	17:31	17:02	17:42

○時刻表は平成30年3月現在のものです。  
ダイヤ改正等で変更になる場合がありますので、ご利用の際は、運行会社等へご確認ください。  
青梅市公共交通協議会・成木地区公共交通検討委員会  
問合せ：青梅市経済入部 まちづくり政策課 0428-22-1111

## 2 協議事項

### (1) 学校教育におけるMMIについて

青梅市立成木小学校において、交通環境学習(公共交通に関する様々な知識の習得)の時間を確保していただけることとなり、現在学習内容について検討を行っている。

#### ①交通環境学習の目的

- 小学生(低学年)を対象に、路線バスを用いた乗車体験を通して、乗降の仕方やマナー、公共交通としての路線バスの大切さ等について学習してもらおう。
- 学習を通して、路線バスに興味や親しみを持ってもらい、路線バスに乗車する機会の増加や、将来も移動手段の一つとして自然に選択できるような意識の醸成をはかり、路線バスの永続的な利用促進につなげる。

#### ②対象

- 青梅市立成木小学校の1年生(10名)、2年生(11名)の合計21名

#### ③実施日時

- 平成31年2月12日(火)または26日(火)で調整中
- 9:30~10:15の1コマ45分間

#### ④実施場所

- 座学は、教室で実施
- 乗車体験は、成木小学校の隣接駐車場



⑤具体の実施内容

所要時間	講座	実施	学習内容
15分 ※移動時間含む	座学	クラス担任 ※必要な資料等はコンサルタントが用意	チラシやスライドを用いて乗り方、ルール等を説明する ・市内の公共交通の概要 ・身近なバス路線の行先 ・時刻表の調べ方 ・バスの乗り方・降り方 ・整理券と運賃表の見方
30分	乗車体験	バス事業者	隣接駐車場に路線バス車両を持ち込み、乗車体験を実施する ・バス車両の見学（座学内容の体験：乗車方法やマナー） ・バリアフリーに対応した低床バス車両の学習 ・車いす利用者の介助の仕方（スロープ体験） ・運転席体験（死角やバックミラー） ・内輪差、オーバーハング等の危険

## (2) 事業所におけるMMについて

青梅市三ツ原工業団地において、事業所MMの可能性を探るため、三ツ原工業会へのヒアリングを行った。

### ①ヒアリングの目的

- 青梅市では、近年の少子高齢化に伴い通勤・通学交通が減少し、公共交通の維持が困難になりつつある。このような中、青梅市公共交通協議会では公共交通の利用促進に取り組んでいる。
- 三ツ原工業団地には、比較的高い頻度で路線バスが運行され、公共交通による通勤の利便性は一定程度確保されているものの、運行本数は5年前と比べて20本(2割近く)減少している。現行の運行本数を維持するため、通勤における公共交通の利用促進を図っていく必要がある。
- このため、三ツ原工業団地の企業・従業員を対象とした通勤における公共交通利用促進の取り組みの可能性について、意見をうかがう。

表 三ツ原循環（西東京バス）  
の運行本数

2013年9月	116本
2018年9月	96本



### ②ヒアリングの結果

- 12月25日に三ツ原工業会にヒアリングを行った。
- 三ツ原工業会の会員は77社であり、8割程度が加入している。
- 団地内の駐車場は、工業会が地主から一括して土地を借りていて(現在7か所)、工業会が各企業と契約して、利用者に割り当てている。現在は満車状態。
- 電車・バスなど公共交通の定期代は全額支給されるが、駐車場代(6000円)は一部しか支給されない企業が多い。ガソリン代は距離に応じて一定額支給される企業が多い。
- 来年1月に開催される三ツ原工業会の役員会で取り組みについて説明を行い、その後会員企業へ取り組み意向に関するアンケートを行うことを了解いただいた。

### ③今後のスケジュール

(2019年1月)

- 三ツ原工業会役員会で説明
- 会員事業所に対しアンケート調査を送付

#### 【個別企業アンケート項目】

- 従業者数、主な居住地
- 通勤時の交通手段の割合（マイカー、公共交通、徒歩・自転車）
- 交通手段の選択は従業員の自由か、または何か決まりがあるか（交通手段を選択する理由）
- 通勤手当の支給状況
- 駐車場の不足
- 通勤時の交通全般に関する問題の有無
- 路線バス（三ツ原循環）への改善要望
- マイカー利用抑制や公共交通推奨等の交通環境向上に関する取り組みを行っているか、または今後行う意向はあるか。

(2019年2～3月)

- アンケート結果から、取り組み意向がある事業所を選定、依頼

(2019年4月～)

- マイカー利用抑制や公共交通推奨等の交通環境向上に関する取り組みの実施意向がある事業所を対象として、公共交通利用促進に対する取り組みの支援を実施する
- 具体的には、従業員へバスマップや啓発チラシを配布し、その前後での公共交通の利用状況の変化を調査

【参考：他都市における事業所MMの実施事例】

尼崎臨海部における従業員への情報提供（兵庫県尼崎市）

【背景】

兵庫県、尼崎市では大規模工場が集積する尼崎市の国道43号以南の約1,000haにおいて、「森と水と人が共生する環境創造のまち」をめざす「尼崎21世紀の森」構想を進めており、その一環として、環境改善や地域活性化に貢献する「バス充実策」を検討していました。一方、尼崎臨海部に立地する事業所は駅から遠く、また交替勤務のある事業所も多く、マイカー通勤が多い状況にありました。

そのような状況の中、平成17年11月、大規模事業所の新規立地に伴い、新規バス路線が開通されました。

- 平成17年11月、大規模事業所(C社)の新規開業に伴い、**新規バス路線が開通**
- このバスサービスの充実を契機に、既存事業所(A社、B社)の従業員を対象に、マイカー通勤から路線バス等による通勤への自発的な転換を働きかける**（モビリティ・マネジメントの実施）**

【内容】

大規模事業所の立地によるバス増便をきっかけに、バスのサービスレベルが上がる既存の2事業所・768人の従業員に対して、公共交通の利用をよびかける取り組みを実施しました。

具体的には、

- バス通勤を呼びかける冊子
  - バス時刻表
  - バスを使って自宅から通勤する方法が個人別に書かれたカード
- を配布すると共に、アンケート調査を実施しました。



【結果】

- アンケートの結果、3.6%の従業員の「通勤手段の変更及び変更の意思」が確認されると共に、バス利用者が11%増加する可能性が示唆されました。
- 従業員の「クルマばかり使うのは環境によくない」「クルマ以外の交通手段で通勤すべきと思う」「クルマ以外の交通手段で通勤しようと思う」という意識が向上しました。

（第1回日本モビリティ・マネジメント会議資料より）

阪急茨木市駅	電車・バス時刻表(平日)				心・尼崎21世紀の森				
	出 発				着 陸				
阪急茨木市駅(電車) 普通・快速	6:37	6:59	7:00	7:06	18:51	19:06	19:06	19:43	19:43
阪急梅田駅(電車)	7:02	7:19	7:26	7:34	18:31	18:46	18:46	19:19	19:19
阪急梅田駅～阪神梅田駅(徒歩)8分	↓	↓	↓	↓	↑	↑	↑	↑	↑
阪神梅田駅(電車) 普通・快速	7:10	7:29	7:36	7:43	18:23	18:34	18:34	19:10	19:10
阪神尼崎駅(電車) 普通・急行	7:17	7:40	7:45	7:54	18:12	18:24	18:24	19:00	19:00
阪神尼崎駅(電車) 普通・準急	7:19	7:41	7:47	7:55	18:11	18:23	18:23	18:59	18:59
阪神出屋敷駅(電車)	7:21	7:43	7:49	7:57	18:06	18:20	18:20	18:56	18:56
阪神出屋敷(バス)	7:31	7:49	7:57	8:06	17:59	18:06	18:12	18:43	18:48
中興(バス)	7:38	7:56	8:04	8:13	17:48	17:55	18:01	18:34	18:39

実際に配布したカードの例（第33回土木計画学研究・講演集より）

【出典】

尼崎臨海部における通勤者を対象としたモビリティ・マネジメントの取り組み事例  
 （第1回日本モビリティ・マネジメント会議）([http://www.plan.cv.titech.ac.jp/fujiilab/jcomm/pdf\\_file1/PK-23.pdf](http://www.plan.cv.titech.ac.jp/fujiilab/jcomm/pdf_file1/PK-23.pdf))  
 尼崎臨海部における通勤者を対象としたモビリティ・マネジメントの取り組み事例（第33回土木計画学研究・講演集）

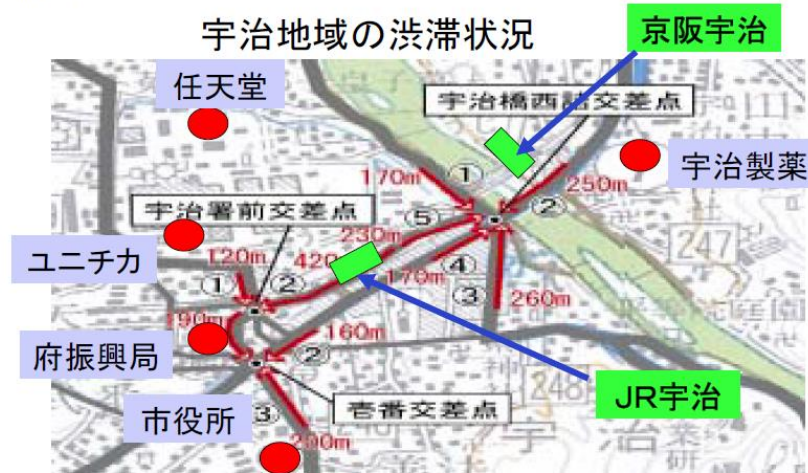


## 宇治地域の複数事業所における従業員への情報提供（京都府宇治市）

### 【背景】

宇治市中心部の宇治地域においては、多くの事業所や市役所、商業施設など都市機能が集中していることから、通勤時間帯を中心に主要交差点（宇治橋西詰交差点、宇治老番、琵琶台口など）で渋滞が発生しています。また、この地域は鉄道やバスなどの公共交通機関が比較的充実しているにもかかわらず、自動車通勤が多く見られます。

そこで、集中する通勤自動車の総量を減らし交通渋滞の緩和と公共交通の利用促進のために、商工会議所や地域に立地する事業所と行政、交通事業者などが連携し、宇治地域通勤交通社会実験「かしこいクルマの使い方を考えるプロジェクト宇治 2005」を実施しました。



### 【内容】

自動車通勤者の交通行動の転換を促すために、事業所の協力のもと、宇治地域に立地する事業所の全従業員約 4300 人に、「通勤交通について尋ねるアンケート」「公共交通の地図」「クルマの使い方を考えるパンフレット」の 3 種類のツールを配布しました。

#### ・通勤交通について尋ねるアンケート

問 1 や問 2 で、「現在の通勤手段」や「出勤時間」といった現在の通勤実態を答えてもらうと共に、問 4 や問 5 で「自宅から自転車やバイクで通勤できるかどうか」を答えてもらい、さらに問 6 で、同封した公共交通の地図（通勤マップ）を見ながら「もし電車やバスで通勤するとしたら、どのように通勤するか」を考えてもらい、問 8 で「クルマを使わない通勤」の具体的な方法を書いてもらうことで、情報提供の資料を確実に読んでもらうと共に、「クルマを使わない通勤」について考えてもらうきっかけを作りました。

#### ・公共交通の地図

A3・表裏サイズの紙に、職場周辺の電車・バスの路線図や時刻表を示した地図を配布しました。

#### ・クルマの使い方を考えるパンフレット

「クルマと環境問題」「クルマ利用と健康」「渋滞の科学」等、クルマ利用のネガティブな側面を示した上で、クルマ以外での通勤を促すパンフレットを配布しました。1 分程度の短時間で読めるよう配慮されています。





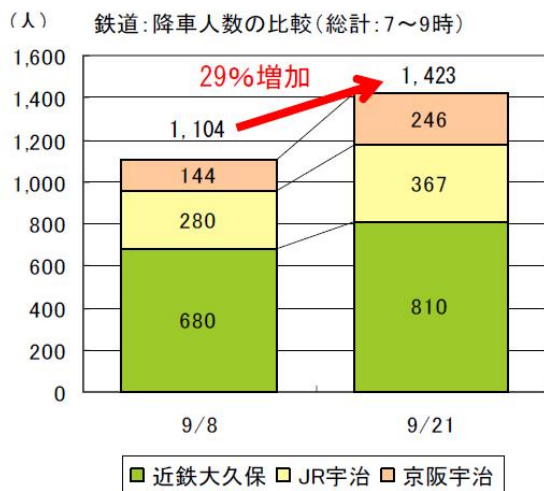
宇治地域における取り組みで配布した公共交通マップ（表面）



宇治地域における取り組みで配布した公共交通マップ（裏面）

### 【結果】

- ・全体の 68.8%にあたる 3002 人からアンケートを回収しました。
- ・従業員の「クルマは環境に良くない」「クルマは健康に良くない」「クルマ通勤を控えようと思う」という意識に変化が見られました。
- ・通勤時間帯の近隣鉄道駅の利用者が 29%増加し、バス乗客が 23%増加しました。
- ・中心部へ向かう（北行方向）乗用車の交通量が 25%減少するとともに、通勤時間帯の渋滞長が短くなりました。



鉄道利用者数の変化



渋滞長の変化（青色矢印の交差点で減少）

### 【出典】

- ・京都府ホームページ ([http://www.pref.kyoto.jp/tdm/est\\_model3-1.html](http://www.pref.kyoto.jp/tdm/est_model3-1.html))
- ・宇治地域における職場TFPとその効果～宇治地域通勤交通社会実験～  
（第1回日本モビリティ・マネジメント会議）([http://www.plan.cv.titech.ac.jp/fujiilab/jcomm/pdf\\_file1/OK-28.pdf](http://www.plan.cv.titech.ac.jp/fujiilab/jcomm/pdf_file1/OK-28.pdf))

出典：「職場交通マネジメント」の手引き／JCOMM 日本モビリティ・マネジメント会議

### (3) 公共交通ガイドの変更について

#### ①現在の公共交通ガイドの課題


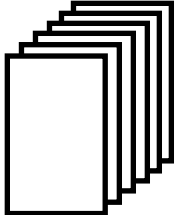
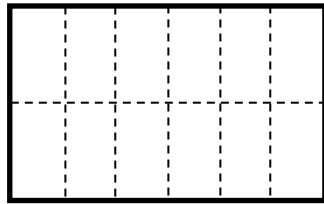
- 紙面がA3判1枚もの(4ページ分)のため、情報量が限られる
- 系統図の線が複数重複していて見づらい
- 文字が小さい
- 時刻表が平日・休日のみで、土曜日の時刻表がない

#### ②改善案の検討

- 紙面を増大する。  
→現在の予算で作成可能なA4判冊子形式とA2判1枚ものについて検討した結果、A4判冊子形式としたい。
- 系統図をできるだけシンプルに表現する。  
→1系統1本の線を、主要方面ごとに1本の線に変更したい。
- 文字サイズを大きくする。
- 土曜日の時刻表を掲載する。

#### 1)紙面増大の検討

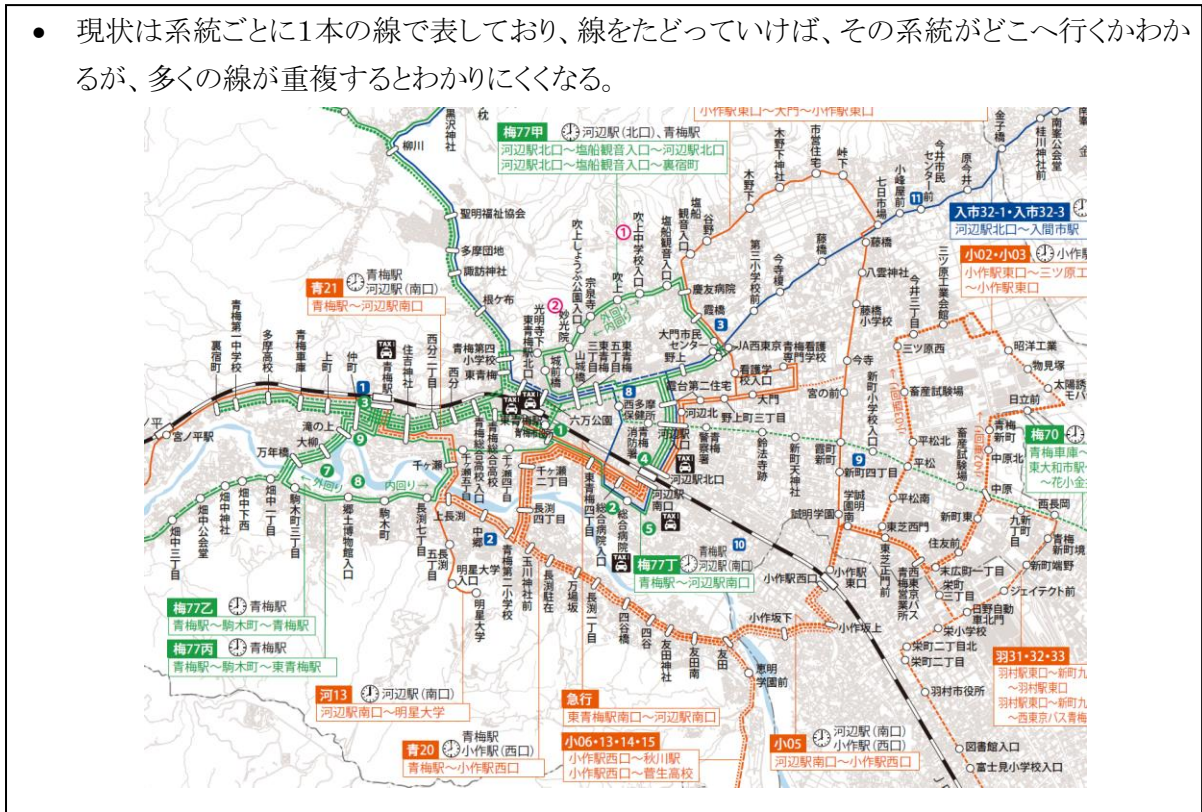
表 紙面サイズの検討

	現在のもの	改善案1	改善案2
仕様	A3判－1枚もの	A4判－冊子形式	A2判－1枚もの
紙面量 A4換算	4ページ	12ページ	8ページ
出来形 サイズ	A4 × 1/2 	A4 	A4 × 1/3 
情報量	● 改善案1の方が情報量は多く確保できる。		
路線図の 大きさ	● 改善案2の方が路線図は大きくなるが、線を少なくしたり文字を大きくすることで、現状サイズでも問題ないと考えられる。		
携帯性	● 改善案2の方が小さく折りたたむので携帯性に優れる。		
紙面の見 やすさ	● 改善案1は冊子なので内容が見やすい。 ● 改善案2は折りたたんでいるので広げて見る必要がある。また、何回も広げたり折ったりすると破れてしまうおそれがある。		



## 2) 系統図をシンプルに表現するイメージ

- 現状は系統ごとに1本の線で表しており、線をたどっていけば、その系統がどこへ行くかわかるが、多くの線が重複するとわかりにくくなる。



- 系統の方面ごとに1本の線にまとめ、線の横に系統番号を記載することで、線をわかりやすくする。(例: 飯能市バスルートマップ)

